

令和8年9月4日

茅ヶ崎市長 佐藤 光 様

茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会
委員長 北岡 英子

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画の後期進捗管理について（答申）

令和8年8月4日付け8茅健増第151号で諮問のありました、茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画（第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画）の後期進捗管理表による令和8年度の指標及び目標値について次のとおり答申いたします。

答 申

令和8年度より後期進捗管理表となり、掲載内容が変更されています。関連する取組事業が単年度で示され、メインターゲット層の項目を追記したことで、より市民に伝わりやすいものになったと感じております。今後は事業の評価をする際に、メインターゲット層だけでなく、実施時期や地域性等も加味していくことを期待します。

令和7年度の間接評価では、当初設定した目標値と現状値とを比較し、一定の成果が確認された一方で、後半5年間に於いて重点的に取り組むべき課題もみえてきました。計画の推進にあたっては、目標値の下方修正や、評価指標の変更を行うべきではありません。当初掲げた理想やあるべき姿を妥協することなく堅持し、市民の健康増進に向けた姿勢を示し続けることが重要です。最終評価において、目標未達成となった場合であっても、大切なはその結果から、「なぜ達成に至らなかったのか」「どのような要因が影響していたのか」を客観的に分析・検討することです。これらを通じて得られる知見こそが、次期計画の策定や今後の健康施策をより実効性の高いものへと深化させるための貴重な財産となります。

また、計画は社会情勢等によって柔軟に対応すべきものであり、各課の事業を進捗管理表を活用して取りまとめていくことにより、状況に合わせた事業内容とその評価、今後の方向性の決定に繋がります。

市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組める環境の充実を目指し、取組推進体制の強化を図ることを求めます。

以上